



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2629 回例会 12 月 13 日

地区ガバナー 中村 皇積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

●ポリオプラスの時間 (ZOOM)

●会長の時間 志村 浩男 会長 (2629 回例会)

ロータリーの友 12 月号は「認知症を知り、共に生きる地域づくり」がテーマでした。私の父は 92 歳で亡くなりましたが晩年の 3 年間は水頭症を患い手術を受けその後認知症となり自宅でショートステイ等のサービスを受けながら車いす生活での看病となりました。認知症になればすべて忘れて気楽になれるという先入観がありましたが最初のうちは社会生活が徐々にできなくなるに従い懸命に社会生活との齟齬を糊塗するような言動が見受けられ最後まで正常な人間として生きたいという必死な思いが伝わってきました。本人と社会生活を営む能力との落差に愕然とし苦悩していたのではないかと思います。それでいて私が薄着していると風邪をひくぞと気遣ってくれたり、何か手助けをしようとありがとうと返してくれたりしました。私にとっては最後まで父は父でした。

病気としての認知症を考えてみるとたまたま今の日本で生まれ画一的な教育を受けお金をはじめとする社会システムの中で効率よく生きることのみが正常とされる価値観こそが病的ではないかと思えます。人生 100 年時代を迎える現在、人間の根源的な本質から認知症をとらえ忌み嫌われる病気としてとらえるのではなく人間の一状態としてとらえなおせばより本質的な対応が可能になるのではと思えます。どんな状態であろうが互いに立派な人間として敬意をもって接することが常識となる社会づくりが必要だと感じました。

●会長の時間 志村 浩男 会長 2628 回例会 (12/6)

モスクワポストークロータリークラブの返信がないことで小原さんに相談したところ下記のようなメールいただきました。

ロシアからの返信の件ですが、妻と先方からの返信を再度確認しました。

まず通常ロシア人のやり取りでは、また返事をするというのは断りに使うことが多いということです。日本人が断る時に「考えておきます」というのと同じということです。メールにつきましては、やはり昨日申し上げた通り先方からの返信を待たれた方が良いでしょう。

チャットにつきましては、先方が問題があれば対応すると書かれておりますので連絡しても良いかもしれません。但し先方のクラブが行なっている活動に対してのことに限定して問い合わせをした方が良いでしょう。ロシアとウクライナの問題についての意見を求めることは危険かもしれないと言われました。

マスコミではあまり報道されていませんが、ロシア国内では日本は敵国となっておりますことをご理解下さい。太平洋戦争中にアメリカ本土から日本人に連絡が来て回答を求められていると同じ

状況であり、その当時に日本からアメリカ本土に渡って来て話しをしてくれと言われているような状況になります。

イスラエル問題の影に隠れていますが、現在ロシア国内の状況は刻一刻と悪化しています。

前回貴クラブに訪問して話しをした時から状況はかなり変化したそうです。

日本にいる限りは命が危険に晒される事はありませんが、ロシア国内では命の危険を感じる事が多いという事です。

妻の母親も命の危険を感じる事が増えたと言っておりました。

それらの状況を踏まえた上でご連絡をして頂ければと思います。

申し訳ありませんが、宜しくお願いいたします。

以上です。

あきらめずロータリーにしかできないこと、文化的に日本の対極にあるロシア市民との交流ができればと思い甲府北ロータリーからモスクワポストーク RC にクリスマスカードを送りたいと思います。

ロシアのクリスマスはロシア正教により1月7日だそうです。皆さんのアイデアを募ります。

また今日は古屋宏貴会員の娘さんの「地球歌」世界平和プロジェクトの紹介をします。皆さんのご意見をお聞かせください。

2628 回例会 (12/6)

●地球歌で世界を平和にするプロジェクト 山梨学院中学校 古屋美緒さん

自己紹介

古屋 美緒

2008年6月22日生まれ(15歳)

山梨学院中学校 三年生

競泳選手

私の名前は古屋美緒です。山梨県山梨市で暮らす中学三年生です。両親と妹二人の五人家族です。

得意なことは、泳ぐこと。好きな教科は、数学と英語と音楽

と美術です。

両親は私が生まれるまで、バックパッカーとして世界中を旅していました。その影響で、私も小さい頃から旅行が大好きです。これまでアジアばかりですが9ヶ国を訪れ、日本国内もいろいろな場所を旅しました。大人になったら世界を旅することが夢でしたが、最近になって、大人になるまで待てない理由ができてしまいました。

私はこの夏、世界平和の実現に向けたアイデアを発表する「子ども世界平和サミット2023」に日本代表として選ばれました。衆議院会館国際会議場でスピーチをする機会をいただき、世界を平和にするアイデアを訴えました。

そのアイデアを実現するために、私はこのプロジェクトを始めました。

子どもにしか実現できないプロジェクトだと思っています。まずこのプロジェクトについて知り、お力を貸してください。よろしく申し上げます。

プロジェクトのきっかけ

2023年の「子ども世界平和サミット」に日本代表として登壇。

世界中の人達が**地球歌で心をひとつにする**ことを訴えました

私は、世界平和の実現に向けたアイデアを発表する「子ども世界平和サミット 2023」に日本代表として選ばれました。衆議院会館国際会議場でスピーチをする機会をいただき、世界を平和にするアイデアとして、**地球歌の作成**を訴えました。

国際的なイベントで**地球歌**を歌うことで、例え短時間でも、世界中の人々の心がひとつになるのではないかと？

私はこのアイデアで、ピースフル賞を受賞しました。この時に審査員の方からかけていただいた、「ぜひ本当に実現してほしい」という言葉が、このプロジェクトを始めるきっかけとなりました。



「地球歌で心をひとつに」スピーチ全文

世界規模のスポーツ大会でよく目にするシーンがあります。参加チームの国歌斉唱。平和の祭典ともいわれるオリンピックでも、それは行われます。胸に手を当てて国歌を口ずさむという行為は、自国への誇りの表れであると私は考えます。君が代を歌う選手達を見る時、私は「同じ国に生まれた仲間なのだ」と強く感じます。たとえ初めて名前を聞く選手だとしても、仲間だとわかれば応援したくなります。先日行われたWBC第五回大会。日本の国歌斉唱の場面で、日系アメリカ人のヌートバー選手が君が代を口ずさんでいる姿を見た時、私は驚きと同時に、心からの親しみを感じました。選手に限ったことではありません。同じ国歌を分かち合う者同士、たとえ面識がなくても、隣の人と声を合わせて共に応援したくなります。私にとっての平和とは、みんなが互いに仲間だという意識を持ち、同じ瞬間に気持ちをひとつにすることです。

国歌が流れると、私は、日本人としての仲間意識や誇りで胸が熱くなります。世界中の人達が同じ瞬間にそんな気持ちを共有できれば、世界は平和になるのではないのでしょうか。

そこで私は、世界を平和にするアイデアとして、「地球歌の作成」を提案します。

地球歌とは、いわゆる国歌の地球版です。私は地球歌に、国歌と同じ効果を期待しています。声を合わせ、胸に手を当てて地球歌を歌うことで、地球に住む生き物としての誇りや、仲間だということを再確認できるのではないのでしょうか。地球歌の歌詞には、世界中の様々な言語を使用します。そうすることで多くの人たちが歌の意味を理解するとともに、より協同性が高まります。

そして地球歌が完成したら、世界中の国のリーダーに地球歌斉唱を依頼し、プロモーションビデオを作ることも効果的だと思います。独裁者と呼ばれるあのリーダーにも、今まさに戦争しているあの国のリーダーにも、地球歌を歌っていただき、その瞬間を世界中で分かち合いたいです。地球歌は私たちに、地球上の全ての人々が、同じ惑星を共有する仲間であることを思い出させてくれるでしょう。

いつか世界規模の行事で「地球歌斉唱」が行われ、世界の人達がひとつになる日を、私は実現したいです。



サミット当日の動画

プロジェクトの目的

世界中の子ども達で力を合わせ、地球歌を作成し、世界的なイベントで「地球歌斉唱」をする習慣を作りたい。

地球歌ってどんなもの？



- ・ SNS を使用し、世界の子子ども達を中心となって作る。
- ・ 世界のいろいろな言語を使ってひとつの歌詞にする。
- ・ 演奏には世界中の楽器を使用する。

プロジェクトのゴール

2028 年に行われるロサンゼルスオリンピックで、「地球歌斉唱」を実現したい。

ゴールまでのスケジュール

2023 年～ 2025 年	賛同してくれる人を集める。(目標：1 億人) 国際オリンピック委員会に交渉する。
2024 年～ 2026 年	世界の子子ども達を中心となって、地球歌を作成する。
2026 年～ 2028 年	世界中の人達に地球歌を普及し、覚えてもらう。
2028 年	ロサンゼルスオリンピックで地球歌斉唱。

大人の皆さんにお願いしたいこと

今現在 (2023 年 9 月) の目標は、まず沢山のかたに活動を知っていただき、協力していただける個人や団体を増やすことです。そのために

- ・ SNS をフォローしてください！
- ・ 地球歌の作成に賛同・応援を表明してください！

地球歌について多くの人に知っていただくために、ご自身の SNS で「地球歌プロジェクト」の紹介をしていただく、シェアしていただくなど、情報拡散のお手伝いをしていただけたらうれしいです。



← EARTH SONG PRAOJECT インスタグラム

EARTH SONG PRAOJECT X (旧 Twitter) →



・地球歌作成に協力して下さる個人や団体の方がいらしたら、紹介してください！

地球歌の作成には、多くの大人の方の協力が必要です。お力を貸して下さる方がいらしたら、ぜひ紹介してください。

- 個人の例) 文化人・著名人・音楽関係者・言語に堪能な方・インフルエンサー・各国大使など
- 団体の例) 奉仕団体・国際機関・報道機関・企業・スポーツ関連団体など

プロジェクト実現のために、皆さんのお力を貸してください！